学校番号	3018

令和2年度　地理歴史　科

教科	地理歴史	科目	世界史B	単位数	(3)単位	年次	(3)年次
使用教科書	世界史B （帝国書院）						
副教材等	グローバルワイド　最新世界史図表 （第一学習社編集部）						

1　担当者からのメッセージ(学習方法等)

世界史を勉強するにあたって大切なことは、常に歴史的事象や現代に起こっている出来事について「なぜ」という視点をもって思考していくことです。そして、歴史から学んだことを生かして、世界の国の諸事情をふまえ、現在の日本のあり方を考えていきましょう。授業に積極的に参加し，口頭でのやりとりや図を用いての表現など，アクティブラーニングの機会を生かしてほしいと思います。また、考査前の知識の整理をきちんと行って、歴史という時間軸を大きな枠組で理解してほしいと思います。

2　学習の到達目標

・世界の歴史に関する諸資料に親しみ、歴史的思考力を培う。・現代の諸課題について、世界の歴史と結びつけ歴史的観点から考察する力を身につける。
・世界の歴史を地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生き、国家・社会を形成する市民としての責務を果たそうとする。	世界の歴史から課題を見出し、文化の多様性・複合性や現代の特質を多面的・多角的に考察し、国際社会の変化をふまえて、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解し、その知識を身につけている。
評価方法	ワークシート提出 学習状況の観察	定期考査の結果 学習状況の観察	ワークシートの提出 学習状況の観察	定期考査の結果 学習状況の観察

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期中間	さまざまな地域世界	・文明以前の人類 ・オリエント世界と東地中海世界 ・地中海世界と西アジア ・南アジア世界 ・東アジア世界 ・内陸ユーラシア世界 ・東南アジア世界	○ ○ 	○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ 	○ ○ 	a:諸文明が自然環境に適応しながら築き上げられたことや、隣接する地域世界が相互に影響し合ってきたことに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:諸地域世界の形成と拡大過程について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:諸地域世界の接触や交流について史料から有用な情報を適切に選択して、地図上に表したり、世紀ごとに比較したりするなどの活動を通して、世界史の空間的なつながりに着目して整理している。 d:諸地域世界の形成と展開の過程についての基本的な事柄を把握し、その知識を身につけている。	定期考査の結果 ワークシートの提出 学習状況の観察
前期期末	結びあう地域世界	・古アメリカ世界 ・時間軸からみる諸地域世界 ・イスラーム世界の形成 ・ヨーロッパ世界の形成 ・東アジア世界の変容とモンゴル帝国	○ ○ 	 ○ ○ ○	○ ○	 ○ ○ ○ 	a:イスラームの拡大と交流の活発化、ヨーロッパ世界の形成、アジア諸民族の動向と諸地域世界の再編といったユーラシア規模での動きに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: イスラームの拡大と交流の活発化、ヨーロッパ世界の形成、アジア諸民族の動向と諸地域世界の再編といったユーラシア規模での動きを多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:イスラーム、ヨーロッパ世界、アジアの動向と諸地域世界の再編といったユーラシア規模での動きに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択し、読み取ったり、図表などにまとめたりしている。 d: イスラームの拡大と交流の活発化、ヨーロッパ世界の形成、アジア諸民族の動向と諸地域世界の再編といったユーラシア規模での動きについて理解し、その知識を身につけている。	定期考査の結果 ワークシートの提出 学習状況の観察
後期中間	一体化する世界	・海域世界の発展 ・ユーラシア諸帝国の繁栄 ・大交易時代 ・17世紀の世界 ・近世のヨーロッパ ・欧米における工業化と国民国家の形成	○ ○ ○ ○	○ ○ 	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ 	a:大航海時代以降のヨーロッパの海外進出、ルネサンスと宗教改革などの動き、欧州主権国家体制の成立、アジア諸帝国の繁栄、18世紀以降の諸地域の世界の様子等に対する関心を高め、意欲的に追求しようとしている b: 設定された時代の諸地域の特質を見いだし、世界商業の進展などに関連づけて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 設定された時代に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択し、読み取ったり、図表などにまとめたりしている。 d: 大航海時代以降のヨーロッパの海外進出、ルネサンスと宗教改革等の動き、欧州主権国家体制の成立、アジア諸帝国の繁栄、18世紀以降の諸地域の世界の様子等について理解し、その知識を身につけている。	定期考査の結果 ワークシートの提出 学習状況の観察
後期期末	地球世界形成の模索	・帝国主義時代 ・アジアとアフリカの改革 ・二つの世界大戦 ・冷戦の時代 ・冷戦下の日本 ・グローバル化の進展 ・変貌する世界と諸地域 ・日本の現状と未来への模索	 ○ ○ ○ 	○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:地球規模で一体化した構造をもつ現代世界の特質と展開過程に興味・関心をもち、意欲的に追究しようとする。 b:帝国主義の時代の動向から二つの世界大戦の原因と総力戦としての性格、それらが世界と日本に及ぼした影響について理解した上で、人類史的視野から、持続可能な社会の実現について考察する。 c:市場経済のグローバル化、冷戦の終結、地域統合や地域紛争などの問題について、それに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択し、読み取ったり、図表などにまとめたりしている。 d:科学技術の発展、帝国主義諸国の抗争、さらに2つの世界大戦と戦後の冷戦、そして日本の動向やアジア・アフリカの独立についての基本的な事実を把握し、現代社会につながる知識をみにつけている。	定期考査の結果 ワークシートの提出 学習状況の観察

※ 表中の観点について　　a: 関心・意欲・態度　　b: 思考・判断・表現
c: 資料活用の技能　　d: 知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点
・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。